

令和7年度 第8回市政懇談会 事前要望等回答一覧(下忍地区)

No.	意見・要望等	所管課	回答
1	<p>地域活性化について取り組み状況をうかがいたい。</p>	<p>企画政策課</p>	<p>本市では、地域の活性化を図るとともに、誰もがいきいきと暮らせる社会を実現するため、令和6年10月に「行田市基本構想」を策定したところです。</p> <p>本構想では人口減少の抑制とまちの活力を創出するため、重点政策として「子育て支援や教育の充実」、「開発の促進・雇用の創出」、「交通インフラの整備」の3つの柱を掲げ、これらに関する施策をつながりをもって一体的に展開する「新しい行田の好循環」に向けた取り組みを進めていくこととしております。</p> <p>現在市では、本構想に基づき、国に先駆けた3歳未満児の保育料無償化をはじめ、義務教育学校再編に向けた取組みや企業誘致による雇用の創出、AI技術を活用した新たなデマンド交通の導入などのほか、国道17号熊谷バイパスの高速道路化やインターチェンジ設置の早期実現を国・県に強く要望するなど、「新しい行田の好循環」実現のため、様々な取組みを行っているところでございます。</p> <p>こうした取組みを総合的に力強く展開し、本市の魅力を高めることが地域活性化につながるものと考えております。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
2	<p>農道の整備や道路の草（ものづくり大学周辺が特にひどい）の要望を出しても改善されないのはどうしてなのか。</p> <p>樋上地区周辺や上分地区周辺の優先順位の情報を教えてほしい。</p>	<p>道路治水課 農政課</p>	<p>農道の整備については、下忍地区から2件の整備要望をいただいております、市内各所から寄せられる整備要望は、『行田市生活道路等整備事業評価』により透明性や公平性を確保し、優先度の高い箇所から実施しております。</p> <p>引き続き、下忍地区の要望箇所につきましても、現地状況を確認し事業評価を踏まえ、農業振興地域の基盤整備を進めてまいります。</p> <p>道路の除草については、市民の皆様からの通報や道路パトロール等により、現地の状況を確認し、必要に応じて、業者に委託しているところでございます。しかしながら、道路や水路に雑草が繁茂する時期は、毎年、市民の皆様から多くの除草要望が集中するため、除草作業を実施するまでに不測の日数を要しているのが現状でございます。</p> <p>今後も、快適な生活環境と安全確保のため、地先管理等、皆様のご協力をいただきながら、適正な維持管理に努めてまいりたいと存じます。</p>
3	<p>【田んぼの区画整理、用水路の整備の予定はあるのか】</p> <p>行田市大字鴻池の用排水作業の身体への負担はかなりあり、容易ではない。排水路の中は手作業で、春の堀さらい、田植え後の草刈り、除草剤散布、自分の土地以外の県が保有している土地、他の地区からの生産者のところなど。このことを踏まえて整備の重要性を考えていただき予算を作っていたきたい。県の土地は耕起、年間2回くらい草取り、耕起に来るが堀さらいはない。</p>	<p>農政課</p>	<p>現在、当区域での田んぼの区画整理（土地改良事業）の予定はございませんが、用排水路整備について2路線の整備要望をいただいております、市内各所から寄せられる整備要望は、『行田市生活道路等整備事業評価』により透明性や公平性を確保し、優先度の高い箇所から実施しております。</p> <p>引き続き、要望箇所につきましても、現状を確認し水路の維持管理の低減が図れるよう努めてまいります。</p> <p>また、当区域は埼玉県による『さきたま古墳公園都市計画区域』に位置づけられ、一部では、用地買収が行われており、今後、公園整備の進捗状況等につきましては、埼玉県と連携し事業調整を行ってまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
4	<p>【行田市義務教育学校設置に向けた再編計画（案）について】</p> <p>Bブロックの行田中学校の敷地について、そのまま行田中学校の敷地を使うのか。佐間地区内の敷地候補地を使うのか。個別編策定後基本構想は定まったのか。</p> <p>行田市大字鴻池の土地（スバル自動車南全方面）をBブロックの候補地に考えていただきたい。この土地は、何十年も前に古墳公園の駐車場にすべく県会議員が動いていた。そのころ農業をやめて土地を売却し県の土地が5ヶ所残っている。この土地には年間どのくらいの整備費が使われているのか。</p>	教育総務課	<p>再編計画〈個別編〉（案）につきましては、本年5月9日から7月3日にかけて、地区別・保護者向け説明会を開催し、これと併せて、7月4日まで市民意見募集を行いました。現在、いただいた意見等について検討を行っており、策定した際には、速やかに公表する予定です。</p> <p>また、敷地の選定や整備方法を定める基本構想については、個別編策定後に取り組むこととしていることから、まだ着手に至っていません。</p> <p>なお、ご提案いただいたスバル自動車南の土地は、県営のさきたま古墳公園の拡張整備予定地として県が所有し、都市計画決定もされていることから、新校の候補地とすることは難しいと考えております。</p> <p>また、当該土地に関する年間管理費等に関しましては、埼玉県が所管している土地であるため、本市で把握してございませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
5	<p>再編計画での公共の建物建設にあたっての業者、通学のためのバス会社の予定の説明をききたい。</p>	教育総務課	<p>再編計画〈個別編〉（案）では、Bブロックのスケジュールとして、令和7年度に「基本構想」、令和8年度から9年度に「基本設計」「実施設計」、令和10年度以降に「工事」を実施するよう見込んでいます。そのため、具体的な設計や工事の事業者等につきましては、設計、工事等の発注時に選定する予定です。</p> <p>スクールバスにつきましても、今後、開校準備を進める中で、利用条件等を保護者や学校関係者と検討し、その後、バス運行事業者の選定を行っていく予定です。</p> <p>なお、再編を進める中で様々な事項を決定した際は、お知らせしてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
6	<p>教育行政、特に今取り掛かっている「市内義務教育学校」について、もう少し進んだ話、具体的な事例を含めて聞きたい。</p>	<p>教育総務課</p>	<p>再編計画〈個別編〉（案）を公表し、地区別・保護者向け説明会を実施するとともに、市民意見募集を実施したところです。</p> <p>今後、いただいた意見等を十分検討の上、計画を策定した際には速やかに公表します。</p> <p>なお、Bブロックの新校設置に向けたスケジュールとしては、今年度中に場所の選定や整備方法を示す基本構想を定めていく予定です。その後は、建物に関する基本設計、実施設計を経て、工事を行っていく見込みです。</p> <p>また、併せて、小中一貫教育の基本的な方針を定めていくとともに、校名や通学方法、制服等について、保護者や学校関係者と検討し、開校準備を進めていきたいと考えています。</p> <p>これまで他自治体の義務教育学校を視察し、助言等もいただいたことから、そうした事例も取り入れつつ、魅力的な新校を作ってまいりたいと思います。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
7	<p>物価高の中、行田市内の商売興業、農家の方への支援体制等、今はどの様に考えて進んで行こうとされているのか？</p>	<p>商工観光課 農政課</p>	<p>物価高騰に伴う生活への影響につきましては、その影響は甚大であり、市内事業者や市民の皆様は大変苦しい状況にあるものと推察されます。</p> <p>このことから、市では、国の交付金を活用し、物価高騰等の影響を受けている市内事業者及び市民の皆様を対象に1万円で500円券20枚にプレミアム分6枚を加えた1万3千円分の商品券が購入できるプレミアム付商品券事業を実施しております。</p> <p>本事業の実施により、市内での消費喚起や地域経済活性化に供されるものと認識しております。</p> <p>今後、国や県の物価高騰対策などを活用しながら、市内事業者を支援してまいりたいと存じます。</p> <p>農家の方への支援体制につきましては、市内の農業者が農業所得の増大を目指し、スマート農業技術の導入など新たな取り組みを行う場合、その費用の一部を助成しております。今後も、地域農業の維持・発展に向けて、ほ場整備の実施や農地中間管理事業の活用、さらにスマート農業の普及促進により農作業効率化を推進してまいります。また、これらの施策を進めるにあたっては、地域の皆様の意向を十分に尊重しながら、総合的なアプローチで農業施策の推進に努めてまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
8	<p>埼玉古墳など、世界遺産を目指しての活動や取り組みの現状は今、どうなっているのか。（名物のゼリーフライやフライ、作るの大変で、作り手がいなくなっていたり、お店が潰れてしまったりと、中々に寂しい状況はある。）</p>	<p>商工観光課</p>	<p>世界遺産の登録につきましては、行田商工会議所が中心となって機運を盛り上げてきたところでございます。</p> <p>現在も、行田商工会議所を中心に機運を盛り上げる活動に取り組んでいるものと存じますが、市といたしましても、埼玉古墳群が埼玉県で唯一認定されている日本遺産の構成資産であることから、古墳の魅力発信や活用に取り組んでいるほか、令和5年4月には、さきたま古墳公園内に「さきたまテラス」がオープンし、多くの観光客で賑わっているところでございます。</p> <p>また、昨年度初開催の「行田古墳フェスティバル」や6年振りに通常開催した「さきたま火祭り」においても市が支援し、埼玉古墳群への誘客と魅力発信に取り組んでおります。</p> <p>フライ・ゼリーフライにつきましては、日本遺産の構成資産であることから、魅力向上や消費拡大に取り組んでいるほか、令和4年3月には文化庁から「100年フード」の認定を受け、100年続く食文化として継承することを宣言いたしました。</p> <p>「100年フード」の認定後は、市と一般社団法人行田おもてなし観光局が連携し、100年フードロゴマーク入りのフライ・ゼリーフライののぼり旗を制作し、市内のフライ・ゼリーフライ販売店に提供するなど、情報発信に取り組んでいるところでございます。</p> <p>今後とも、世界遺産の登録に向けた機運につきましては、引き続き、側面からの支援を行ってまいりたいと存じます。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
9	<p>高速道路が通ると、どれくらいのメリットや市政の潤いが見込まれるのか。</p>	<p>都市計画課</p>	<p>市政運営の総合指針である「行田市基本構想」では、交通インフラの整備として、国道17号熊谷バイパスの高速道路化やインターチェンジ設置の早期実現を重点政策として掲げ、「新しい行田の好循環」の柱として取組みを積極的に推進しております。</p> <p>国道17号熊谷バイパスの高速道路化とインターチェンジの設置は、首都直下型地震などの大災害が発生した際、人命救助と物資輸送のルートとなるだけでなく、平常時においても交通混雑緩和をはじめ、物流の円滑化による生産性向上や企業誘致による地域経済の活性化などが見込まれるところでございます。</p>
10	<p>スターバックスコーヒーのその後について</p>	<p>企業誘致課</p>	<p>スターバックスコーヒーの出店につきましては、市民の憩いの場である水城公園に、飲食や休憩ができる施設を望む声が多く寄せられており、こうしたご意見を踏まえ、水城公園を市民や観光客の交流拠点とし、地域の活性化と水城公園のさらなる魅力向上を推進するため、「水城公園飲食施設出店者募集事業」を企画し、公募を実施いたしました。市の事業趣旨に賛同したスターバックスコーヒーの出店が審査会を経て決定し、基本協定を締結しましたが、一部市民から反対の声がありました。スターバックスコーヒーは出店に関して、たとえ一部であっても出店に懸念がある状況では、提案した店舗コンセプトである「つなぐカフェ」の実現が難しいとして、出店を中止したい旨の申し入れがあり、中止となりました。</p> <p>スターバックスコーヒーからは、「今回の水城公園での出店については断念いたしますが、多くの行田市民の皆様から頂戴した温かいご支援やご期待にお応えするため、行田市内の水城公園とは別の適切な場所での出店について、引き続き検討してまいりたいと考えております。」と報告をいただいておりますことから、市としては、行田市内にスターバックスコーヒーが立地できるよう、引き続き営業活動を継続してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
11	<p>菊花連絡協議会は、平成22年当時は会員が80名ほどいたが、今では13名になってしまった。若い人の入会者もなく、このままでは廃部になりそうである。</p>	<p>商工観光課</p>	<p>行田市菊花連絡協議会におかれましては、行田市の花に指定されている「キク」の振興に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>また、毎年秋に開催される行田市菊花展には、会員の皆様のご協力により盛大に開催され、大輪のキクが愛好家のみならず来場者の目を楽しませていただいていることに深く感謝申し上げます。</p> <p>ご指摘のとおり、行田市菊花連絡協議会の会員数が減少していることは、市といしましても認識しているところです。キクに少しでも興味がある方に会員になっていただきたいと思っておりますので、今後、行田市菊花連絡協議会の皆様と会員数を増やすための方策等を検討をしてみたいと存じます。</p>
12	<p>10年程前に、川の再生プロジェクトで土手にポタリング道路をつくる計画があり、忍川の石田堤まで要望したが、今回は土地の買収はなく、土手が狭く湯本温泉までしかできなかった。代わりに緑道の並木橋より石田堤まで拡幅する約束をしたが、未だに完成していない。なぜか。</p>	<p>道路治水課</p>	<p>さきたま緑道の並木橋から石田堤までの市道第9.2-8号線については、平成27年、平成30年に県道上中森鴻巣線の交差点から市道第9.3-152号線との交差点までの約170m区間において、道路幅員5mの拡幅整備を実施しております。</p> <p>残りの市道第9.3-152号線との交差点から石田堤までの約70mの区間については、民地と道路の境界確認において、一部不調となっていることから、整備完了には至っていない状況でございます。</p> <p>【参考情報】 道路改良191 平成23年度に口頭にて道路改良の要望あり 事業評価 Bランク</p>